

スタントマン 自転車事故再現 土佐塾高で交通安全教室



車にはねられる事故を再現するスタントマン（高知市の土佐塾高校で）

プロのスタントマンが、自転車と車の事故を再現し、自転車の運転の危険性を実感してもらう交通安全教室が28日、高知市北中山、土佐塾高校で開かれた。

事故を目の前で見ること、安全運転の意識を強く持たせる「スケアード・ストリート方式」と呼ばれる教育法で、県警交通企画課が主催。映画やドラマに出演するスタント会社「スーパードライブス」のスタントマン5人が参加した。

同校のグラウンドの一部を交差点に見立てて実施。生徒約620人を前に、自

転車に乗ったスタントマンが、一時停止をしなかったり、傘差し運転をしたりして交差点を横断。急ブレーキをかけた車が砂ほこりをあげ、「ドン」という音とともに、接触したスタントマンをボンネットの上に跳ね上げた。はねられた自転車のフレームも変形し、生徒たちは「危ない」と声をあげ驚いていた。

3年の濱村和恵さん(17)は「ぶつかる音や衝撃は思ったよりも大きかった。普段自転車で通学しているのですが、これまで以上に気を付けようと思う」と話した。